



- ▶ 研修医数 1年目 2名、2年目 2名
- ▶ 昨年度マッチング受験者数 5名
- ▶ 研修医の主な出身大学

宮崎大学、日本医科大学、聖マリアンナ医科大学、群馬大学、昭和大学、東北大学、杏林大学、千葉大学、東京大学、帝京大学、日本大学、名古屋市立大学、北里大学

研修プログラムの特色

地域の中核的な役割を担う公的病院であり、初診から最終転帰に至るまで当院で一貫して診察を行うケースも多く、全人的な医療、プライマリ・ケアを研修することに適している環境にあります。赤十字病院として災害救護訓練を行っています。1年目は内科・外科の研修にて基礎力を磨き、2年目は研修医の希望により柔軟な対応が可能となっております。小川赤十字病院での臨床研修の目標は、赤十字の使命である「人道」に基づき展開される全人的医療を行う中で、医療機関・医師の社会的役割について十分な認識を深め、将来にわたり必要となってくる基本的診療能力（知識・技能・基本的態度）及び医師としての人格の涵養です。

プログラム例 小川赤十字病院医師臨床研修プログラム / 募集定員: 3名

	1-4週	5-8週	9-12週	13-16週	17-20週	21-24週	25-28週	29-32週	33-36週	37-40週	41-44週	45-48週	49-52週
1年目	内科 (24週)				精神科 (8週)		外科 (8週)		選択科 (12週)				
2年目	選択科 (4週)	小児科 (4週)	産婦人科 (4週)	救急 (8週)		麻酔科 (4週)	地域医療 (4週)	外来 (4週)	選択科 (20週)				

地域医療はさつき内科クリニック、大野クリニックから選択する。
必修科目のうち小児科、産婦人科、救急医療(うち8週)、精神科は埼玉医科大学病院で実施する。
選択科目はリウマチ科、循環器、消化器、内分泌・糖尿病、神経、血液、外科、整形外科、脳神経外科、眼科、皮膚科、泌尿器科、放射線科、リハビリテーション科、地域保健(日本赤十字社埼玉支部特別養護老人ホームひなた荘、小川町保健センター) から選択する。

■ 研修医の処遇

給与	1年目:約40万円/月、2年目:約45万円/月	勤務時間	月～金 8時30分～17時15分
諸手当	時間外手当、当直手当、通勤手当、住居手当(賃貸の場合)、勤勉手当(年2回)	当直	あり(3～4/月)
保険	埼玉県医師会健康保険組合、厚生年金保険、雇用保険あり、労災保険、厚生年金基金等企業年金なし、医師賠償責任保険(病院において加入)	休暇	有給休暇(1年目:15日、2年目:21日)、夏季休暇
		宿舎	なし(家賃補助あり最大28,500円/月)

■ 主な臨床研修協力病院・協力施設

- 埼玉医科大学病院
- 小川町保健センター
- 特別養護老人ホームひなた荘
- さつき内科クリニック
- 大野クリニック



■ 病院の概要

NPO法人卒後臨床研修評価機構(JCEP)による認定 / 無



■ 診療科

内科、循環器科、呼吸器科、リウマチ科、神経内科、血液内科、腎臓内科、内分泌・糖尿病内科、精神科、外科、乳腺・内分泌外科、消化器科、整形外科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、放射線科、麻酔科、リハビリテーション科

■ 主な認定施設

埼玉県がん診療指定病院、地域医療支援病院、日本内科学会認定医制度教育関連病院、日本外科学会外科専門医制度修練施設、日本リウマチ学会教育施設、日本血液学会認定血液研修施設

■ 当院の魅力

地域に密着した医療

小川赤十字病院は埼玉県西部に位置し、病棟からは外秩父が一望できる緑豊かな環境に立地しております。昭和14年に開設されて以来、80年以上の歴史を通じて、地域に密着した医療を続けてきました。急性期医療及び二次救急を中心としておりますが、周辺医療機関との連携や訪問看護にも取り組んでおります。また、赤十字病院として、救護班(医療チーム)を被災地へ派遣するなど、災害に備えた体制を整え、定期的な災害救護訓練も実施しております。



女性医師支援

- 産休・育休
- 出産祝金(在職2年目以降)
- 育児短時間勤務
- 時差出勤、時間外勤務の制限、深夜勤務の免除、所定労働時間を超えない勤務
- 子の看護休暇

病院見学、その他イベント・説明会等の情報

病院見学は随時受け付けております。日程を調整させていただきますので、総務課あてに電話またはメールにて連絡をお願いします。



連絡先

病院名 小川赤十字病院
所属 人事課
住所 〒355-0397 埼玉県比企郡小川町小川1525
TEL 0493-72-2333(代表)
FAX 0493-72-2755
E-mail jinji@ogawa.jrc.or.jp
URL http://www.ogawa.jrc.or.jp
アクセス 東武東上線・JR八高線 小川町駅 徒歩15分

研修責任者からメッセージ



臨床研修委員長
吉田 佳弘

地域の中核病院で積極的、意欲的に臨床研修をしたいと考えている方を歓迎します。全人的な医療、プライマリ・ケアの研修により幅広い臨床能力を身につけることができるはず。災害救護のトレーニングも可能です。

小川赤十字病院の研修プログラムは、選択枠が広く、研修医の方の希望にそうすることができます。また、救急医療・産婦人科・小児科・精神科は埼玉医科大学病院での研修になります。各専門分野の指導医、専門医が揃っておりますので、ぜひ一度見学にお越しください。

先輩研修医の声



研修医 2年目

岡村 雄次郎

当院のある埼玉県比企郡は高齢化率の高い地域であり、患者さんも様々な基礎疾患を抱えています。そのため、心不全・脳梗塞・糖尿病・高血圧といった重要疾患を数多く経験出来ます。また、研修医も少数であるため、指導医からマンツーマンの指導を受けることが出来ますし、先生方やコメディカルの方も親切な方ばかりです。研修スケジュールはそれほど過密ではないため、各人のモチベーションに応じた自由度の高い研修が出来るという点も当院の魅力だと思います。是非一度見学にお越しください。

研修医 1年目

中本 啓太郎



当院の初期研修医は1学年2名で計4名と少人数のため、手技の練習や病棟業務・症例検討など互いに協力し、助け合いながら研修を行っています。病棟での研修は、指導医の先生との距離感が近く、密に連絡や相談ができる環境なので親身になって教えて頂いております。生活面では、水がきれいで山川のレジャーが盛んであり、近くに温泉もあるため仕事終わりに立ち寄ることも出来ます。地方の市中病院に興味がある方はぜひ一度見学にお越しください。